



オーストラリア直送レポート

Vol.3

2015.8.5 自由で磨かれる感性

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・林
- パーマストン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・岩崎

【DS校グループ】

登校2日目。今日は、集合時間になっても登校してこない子や、少し疲れた表情の生徒がいました。声をかけてみると、「大丈夫！」や「ホストが出発の時間を間違えた」との答えが返ってきたので、ひと安心しました。ホストファミリーとの関係を聞いてみると、日に日に話す機会が増えているようでした。ある家庭では、おじいさんが大の親日家で色々聞いてくれたり、日本画を見せてもらったとのことでした。



今日は、初日ほどの緊張感はなく、それぞれの生徒が昨日に引き続きホストブラザー／シスターとともに教室に移動していきました。我々（林・金田）も生徒たちが参加している授業を見学し、校舎内をあちこちと歩き回りました。昨日は、全く知らないDSの生徒に囲まれ、聞いたことのない英単語が飛び交う環境に黙って座っているだけでしたが、ホストブラザー／シスターを通じて仲良くなった生徒が同じ教室にいたり、初日より少し余裕が出てきたようでした。また、図などを理解し問題を解く子もいました。特に印象に残った授業は、音楽の授業でした。日本と違い、楽譜を見ながら全員が同じ楽器を練習するの



でなく、いくつかの部屋に別れて気に入った楽器をそれぞれ練習したり、リズムをそれぞれが表現しセッションしたりと、生徒それぞれの感性に任せていました。

ランチタイムには、何人かの生徒がDS校内の売店でハンバーガーやピザの購入にチャレンジしていました。我々（林・金田）も購入しましたが、ランチタイム時は混雑するのと、当たり前ですが、売店では英語の注文が必要なので、気になり、周りから見

ていましたが、無事に購入できていました。少しずつですが、興味のあることに自分たちだけで挑戦するようになってきました。生徒に味を聞いてみると「めちゃおいしい」「食べたことのない味」「明日も食べたい」と興奮していました。また、DS校の生徒たちも日本の生徒に慣れてきたのか、ランチルームに大勢の生徒が現れて、会話をしたり写真を撮ったりと大盛り上がりでした。



昨日よりも今日の方が、日本とDS校の両校の生徒に笑顔が多かった気がします。生徒たちの適用力の高さやDS校の気さくさがいまって、雰囲気はとても居心地の良いものとなってきています。生徒たちのさらなる飛躍に期待します。

【PS校・RB校グループ】

学校生活2日目は、ローズベリーミドルスクールで過ごしました。12歳から15歳の生徒たちなので年齢も同じで、昨日よりもっと気軽に互いの交流ができていたように思います。授業では失敗を恐れて、やりたいのに積極的に手をあげられない場面が見受けられました。また、先生が言ってくれたことに、うまく反応できないこともありました。何を言ってくれているのか分からないということもあると思いますが、失敗を恐れず勇気を出してチャレンジしたり、相手の言うことにちゃんと反応して自分の思いを伝えるような姿勢を、この研修で少しでも学べたら素晴らしいと思います。今日の後半の授業では、少しそんな姿勢が感じられるようになってきたのでとても嬉しく思います。子どもたちは日々着実に成長しています。明日は今日よりもっといろんなことにチャレンジしていこう！！

